

独立行政法人日本学生支援機構 行動計画

女性活躍推進のため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間

令和3年4月1日～令和8年3月31日

2. 当機構の課題

- (1) 管理職に占める女性の割合を一層高める必要がある。
- (2) 男女の平均継続勤務年数について、女性が比較的低い。

3. 定量的目標

- (1) 管理職に占める女性の割合を引き続き27%以上にする。
- (2) 男性に対する女性の年数比率を83%以上にする。

4. 取組内容と実施期間

令和3年4月～ 介護に伴い退職した職員の再雇用制度を継続実施する。

令和3年4月～ 仕事と育児・介護での両立支援のための制度について、一層の周知を図る。

令和3年4月～ 女性キャリアアップを目的とした研修を継続実施する。

【女性の活躍の現状に関する情報公表（令和3年4月1日現在）】

- ・管理職に占める女性労働者の割合： 25.8%
- ・男女の平均継続勤務年数の差異： 男性：14.8年 女性：12.1年
(男性に対する女性の年数比率 81.8%)
- ・男女の賃金の差異：

区分	男女の賃金の差異
全労働者	71.33%
常勤職員	82.67%
非常勤職員	76.62%

付記事項

- ・対象期間：令和4年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）
- ・賃金：基本給、超過勤務手当、賞与を含み、退職手当、通勤手当等を除く
- ・常勤職員：当機構から他機関への出向者を除く
- ・非常勤職員：令和3年12月2日以降採用者及び在籍期間が1年未満の職員を除く